

地域再生計画 中間評価表

(地方創生道整備推進交付金)

地域再生計画の名称：安全な道路網の整備、地域産業の振興、若者定住を促進する安全な町の基盤づくり

計画期間（平成27年度～平成31年度）

平成30年7月

日高川町

地域再生計画(地方創生道整備推進交付金) 中間評価調査

都道府県名	和歌山県	事業実施主体	日高川町	地域再生計画名	安全な道路網の整備、地域産業の振興・若者定住を促進する安全な町の基盤づくり
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	日高川町役場建設課長		

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価
				基準年度		年度	中間実績		基準年度		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	災害時支援ルート確保率	1/2ルート	H26	1/2ルート	H29	1/2ルート	2/2ルート	H31	○	本計画における事業は整備途中であるため、事後評価時においても目標が達成されるよう、引き続き整備を促進する。
	指標2	地区避難路の確保率	45世帯	H26	45世帯	H29	93世帯	93世帯	H31	○	本事業における事業はH27年度に完成し、交付金の活用により目標を達成することができた。
	指標3	森林整備面積拡大	620ha	H26	660ha	H29	620ha	699ha	H31	×	本計画における事業は整備途中であるが、予定よりコストがかかり、計画の森林整備区域まで林道開設が達しず、中間目標を達成できなかった。今後、最終目標が達成されるよう整備を推進する。
		森林資源の搬出時間の短縮	126分	H26	105分	H29	95分	84分	H31	○	本事業における事業はH29年度に2路線が完成し、1路線については整備途中であり、中間目標は達成した。事後評価時においても目標が達成されるよう、引き続き整備を促進する。
	指標4	集落から都市部への走行時間短縮便益	38,339千円/年	H26	25,559千円/年	H29	31,141千円/年	12,780千円/年	H31	△	本計画における事業は整備途中であるが、予定より法面保護等のコストがかかり改良延長が伸びず、中間目標を達成できなかった。今後、最終目標が達成されるよう整備を推進する。
	指標5	木質パウダー需要量	112t/年	H26	140t/年	H29	181t/年	168t/年	H31	○	本計画において、中間評価時点で最終目標値を達成しており、最終年度までには、整備効果により、需要量が伸びる見込みである。
	指標6	新規定住者数	0人	H26	5人	H29	9人	10人	H31	○	本計画における事業は整備途中であり、中間目標は達成できた。事後評価時においても目標が達成されるよう、引き続き整備を促進する。
	指標7	町営住宅入居者	8人	H26	10人	H29	12人	12人	H31	○	本事業における事業はH27年度に完成し、交付金の活用により目標を達成することができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	地域産業の振興状況									地域おこし協力隊等の協力もあり、順調である。
	指標2	若者定住促進事業の進捗状況や今後の方針									町HP等による啓発により、順調である。

③事業の進捗状況	事業名	整備量(その他の事業では取組内容)			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度	最終実績	
			(H29)	見込み	
特別措置を適用して行う事業	町道	0m	550m	1,640m	平成29年度末には、3路線(550m)が整備が完了し、残り2路線においては引き続き事業実施し、計画に則した整備を目指す。
	林道	0m	6,650m	16,237m	平成29年度末には、2路線(6,650m)が整備が完了し、残り2路線においては引き続き事業実施し、計画に則した整備を目指す。
その他の事業	企業の森の誘致	企業の社会貢献事業(CO2削減)の取り組みで、さらなる森林資源の整備を進めていくため、希望する所有者と企業の仲介を推進し、企業の森の充実を図っていく。			平成29年度に「企業の森」参画団体が10社から11社となり、内1社が県緑化功労賞を受賞、今後も「企業の森」候補地の推薦や希望する所有と企業の仲介を推進し、企業の森の拡充を図っていく。
	バイオマスエネルギー事業	本町の87.4%が森林である特徴を生かし、身近なエネルギー源として森林で発生した間伐材等を燃料化し木質パウダーによるバイオマスエネルギーの活用の実践。			日高川町内の温泉宿泊施設である「きのくに中津荘」、「美山温泉愛徳荘」に木質パウダーを燃料とするボイラーを設置しており、大浴場や調理場への給湯にバイオマスエネルギーを活用している。また、「きのくに中津荘」と「美山温泉愛徳荘」に加え、日帰り温泉施設である「中津温泉あやめの湯鳴滝」と「美山療養温泉館」の4施設に薪ストーブを設置し冬場の暖房設備として活用している。
	若者定住促進事業	人工減少や少子高齢化が顕著に進む中、小・中学校の廃統合が進んでいる。こうした問題を解決するため若者定住促進住宅設置事業の施策を実施。			平成26年度に建設した譲渡型若者定住促進住宅の3戸について、平成27年度に2世帯の入居、平成28年に1世帯の入居があり、継続して入居している状態である。また、平成29年10月より開始した「若者定住促進新築住宅取得支援事業」により、町内で新築住宅等を取得する若者に対し取得費用の一部を補助することで更なる若者定住の促進を目指している。
	地域再生の核を担う都市住民と農山村集落の交流	自然環境を活かした交流プログラムや、農林業体験、手作り体験など農林業・商工業と連携した参加体験型プログラムを行い、交流人口の拡大や定住人口の確保・拡大へと結びつける。			平成13年度から、ゆめ倶楽部21が実施主体として取り組んできた体験型観光について、現在も農林業体験、木工細工や紀州備長炭を材料とした風鈴などの手作り体験を実施している。平成29年度の体験者数は1,984人で、毎年度一定数の受入れを確保してきている。今後、インストラクターや新たな体験メニューを増やしていき、受入れを増やしていきたい。
	滞在型観光、教育旅行の推進～民泊家庭の確保	各観光・交流施設を利用した、参加体験・滞在型の観光・交流を積極的に進めると共に、民泊での修学旅行や、海外の学生において田舎の家庭に滞在生活を体験することが非常に人気であるため、今後も積極的に民泊受入に取り組む。			平成25年に初めて民泊として修学旅行の団体の受け入れを行い、それ以降も小中学校の教育旅行の受け入れを行ってきている。また、マレーシアや台湾など海外からの教育旅行の民泊も受け入れている。平成29年度には、延べ272人を受け入れている。今後も新たな受入れ家庭を発掘し、積極的に受入れを行っていきたい。
	産学官の連携で地域振興の拡大	シンクタンクの役割を果たす和歌山大学との地域共同研究にかかる連携と併せて、他の大学との連携にも積極的に取り組む。			平成30年3月には、町においては大学の知力や人的パワーを地域活性化に活かすため桃山学院大学と連携協定を締結し、協働・交流活動を実施している。今後も、桃山学院大学だけでなく県内にある和歌山大学も含め積極的に連携を取り組んでいきたい。
	新規就農者の確保と遊休農地の活用	耕作放棄農地が増加するなか、若手の新規就農者・Uターン者の確保のための手段として、和歌山県や認定NPO法人との連携により、日高川町の農業のPRを提供し積極的な人材確保に努める。			農業者の高齢化や獣害被害の拡大により、農地の出仕手が予想以上に増加している中で、借り手が不足し、追いつかない状態である。今後も農地中間管理機構やJA、就農支援センター等関係機関と連携し、今まで以上に借り手の確保に努めたい。
④評価方法	役場関係課長、関係地区役員、森林組合役員において中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。				
⑤中間評価の公表方法	日高川町のホームページに掲載				
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に実施し、町道整備状況では災害時支援道路整備が早急に確保された。また林道整備状況では、整備が進むにつれて森林資源の搬出時間等が短縮され効果が出始めており、整備途中である路線においては引き続き計画に則した整備を進め、安全な道路網の整備・地域産業の振興・若者定住を促進する安全な基盤づくりを目指す。				
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、一部整備が遅れており、完了に向け目標が達成出来るよう引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進する。				